

最終・中間アウトカム指標の状況について

1 最終アウトカム

- A1 75歳未満年齢調整死亡率（男女・全部位） P. 2
- A2 5年相対生存率（男女・全部位） P. 3

2 中間アウトカム

- B1 年齢調整罹患率 P. 4
- B2 早期がん割合 P. 6
- B3 がん診療連携拠点病院等が整備されていない空白圏域の数
..... P. 7
- B4 在宅がん総合診療料の算定件数
- B5 末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数
..... P. 8

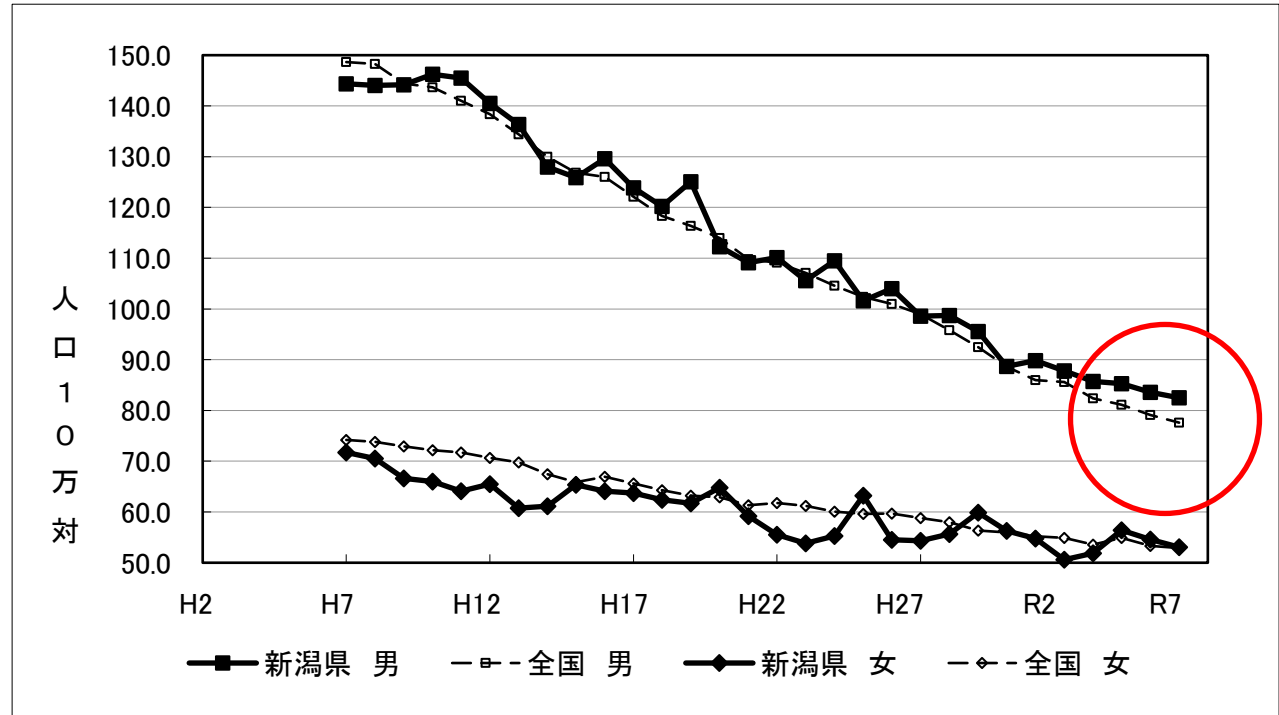
75歳未満年齢調整死亡率(男女・全部位)

最終A1

【指標の状況・評価】

- 男女ともに対前年比で減少しているものの、いずれも全国より高い水準にある。
特に男性は全国よりも対前年比の減少率が低く、全国との差は年々拡大している。
- 引き続き、がん予防のための生活習慣病等の普及啓発や、がんの早期発見・早期受診に向けたがん検診の受診率向上、がん医療提供体制の維持・強化を推進していく。

	新潟 男	全国 男	新潟 女	全国 女
R1	89.8	86.0	54.8	55.2
R2	87.8	85.6	50.6	54.9
R3	85.7	82.4	51.9	53.6
R4	85.3	81.1	56.4	54.9
R5	83.6	79.1	54.6	53.3
R6	82.5	77.6	53.1	52.9

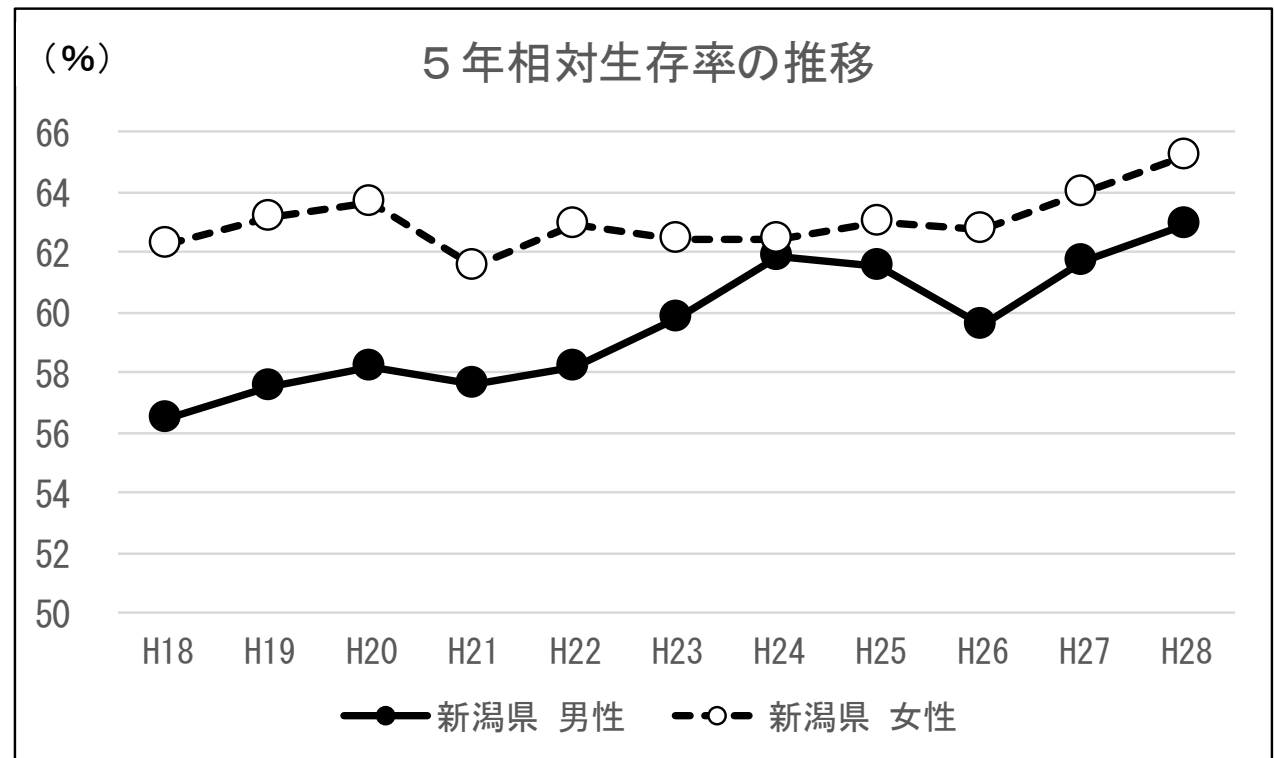


5年相対生存率(男女・全部位)

【指標の状況・評価】

- 男性は55%から65%、女性は60%から66%の範囲で推移しており、女性が男性を上回って推移。全体としては上昇傾向。
- 引き続き、空白のがん医療圏におけるがん診療連携拠点病院の整備を含め、がん診療を行う施設への補助金交付などの取組により、本県のがん医療提供体制の維持・強化を推進していく。

年	新潟県	
	男性	女性
H18	56.5	62.3
H19	57.5	63.2
H20	58.2	63.7
H21	57.6	61.5
H22	58.2	62.9
H23	59.8	62.4
H24	61.9	62.4
H25	61.5	63.0
H26	59.6	62.8
H27	61.7	64.0
H28	62.9	65.2



※県数値と比較可能な国の数値は非公表

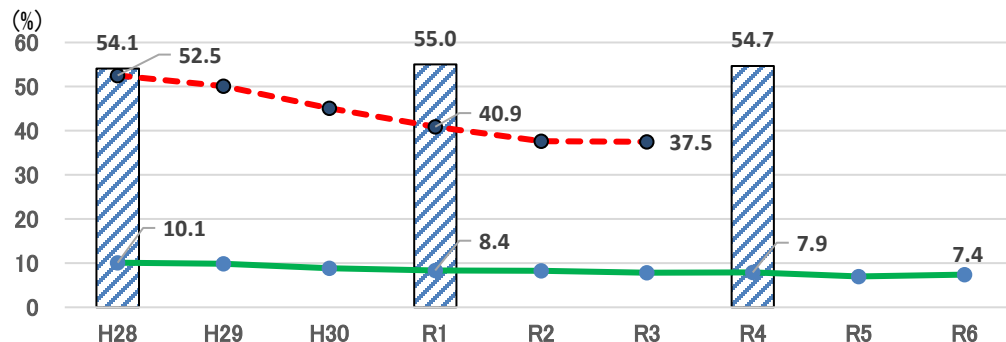
年齢調整罹患率(5大がん部位別(死亡率、がん検診受診率付))

中間B1

年齢調整死亡率(75歳未満)、年齢調整罹患率、受診率(男女計)

※年齢調整死亡率(75歳未満)及び年齢調整罹患率は人口10万対

【胃】



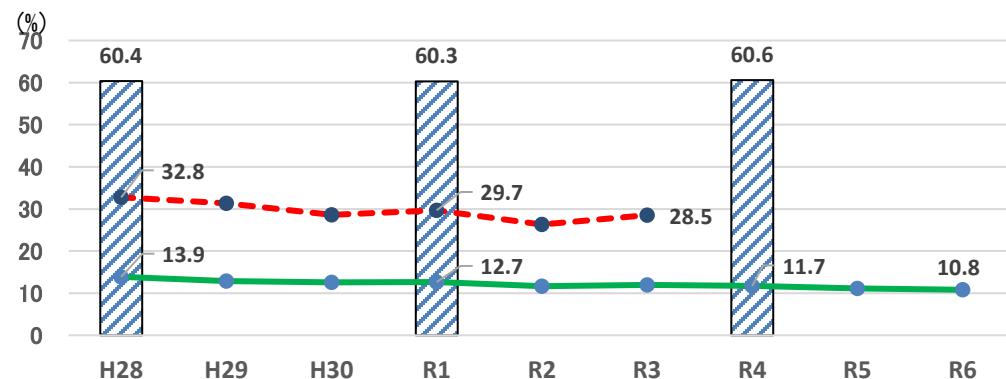
がん検診受診率(69歳以下)
 年齢調整罹患率
 年齢調整死亡率(75歳未満)

【胃がん】

・検診受診率は横ばい～増加傾向にあり、罹患率は低下。死亡率10.1%(H28)→7.4%(R6)へと減少

⇒胃がんについては着実に死亡率が減少しており、引き続き受診率の向上に取り組む。

【肺】



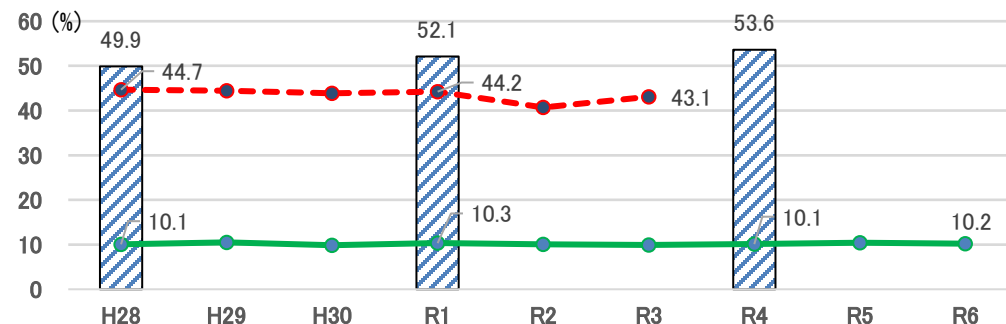
がん検診受診率(69歳以下)
 年齢調整罹患率
 年齢調整死亡率(75歳未満)

【肺がん】

・検診受診率は60%を超えており、死亡率は13.9%(H28)→10.8%(R6)へと減少

⇒引き続き喫煙の防止等により、肺がんの予防に取り組んでいく必要がある。

【大腸】



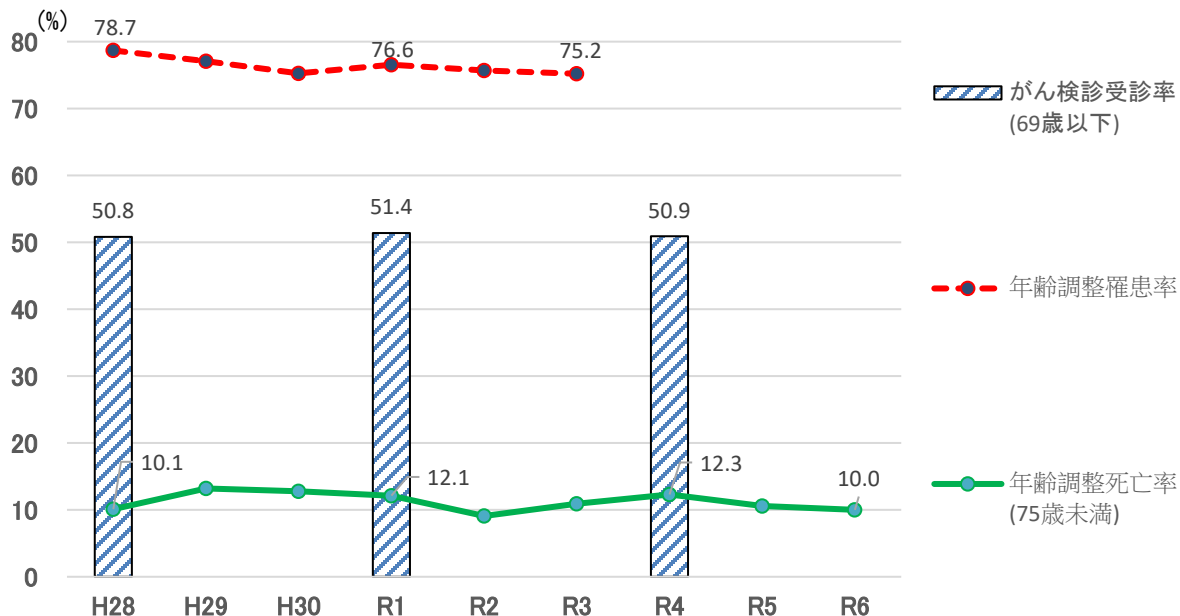
がん検診受診率(69歳以下)
 年齢調整罹患率
 年齢調整死亡率(75歳未満)

【大腸がん】

・検診受診率が増加している一方で、死亡率は横ばいとなっている。

⇒生活習慣の改善による予防及び受診率の向上に取り組む。

【乳】

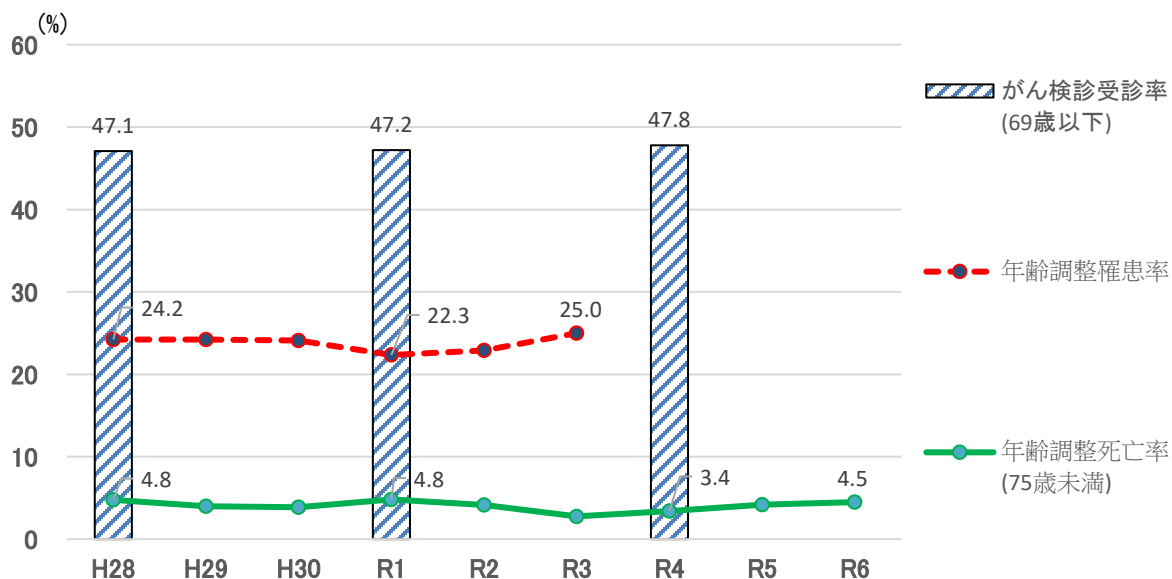


【乳がん】

- ・検診受診率は50%を超えているが、罹患率はほぼ横ばいで推移し、死亡率も10.1 (H28) → 10.9% (R6) とほぼ横ばい

⇒がん検診受診率の向上及び、市町村と協力したブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）の普及啓発に取り組む。

【子宮】



【子宮がん】

- ・検診受診率、罹患率ともに増加しており、死亡率は年度によって変動はあるが横ばいとなっている。

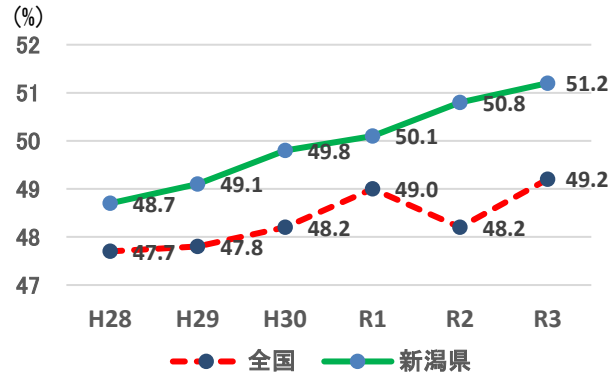
⇒受診率の低い若年女性のがん検診受診率の向上等により、がんの早期発見に取り組む。

※乳、子宮は2年に1回の受診

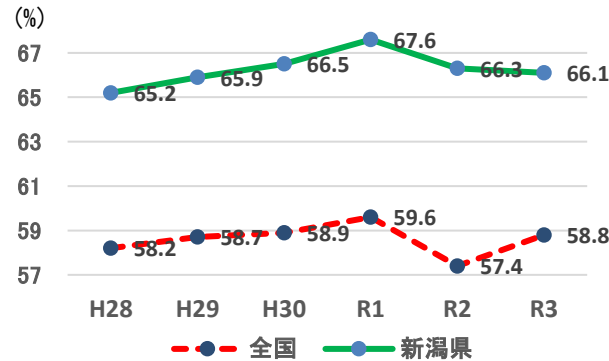
【指標の状況・評価】

- 新潟県・全国ともに、早期に診断されるがんの割合は増加傾向にある。
- 胃、肺、大腸は全国と比べて早期に診断される傾向にあり、特に胃がんは約8%程度の差がある。
- 乳、子宮は年によって変動があり、特に乳がんは全国を下回る年が多くなっている。

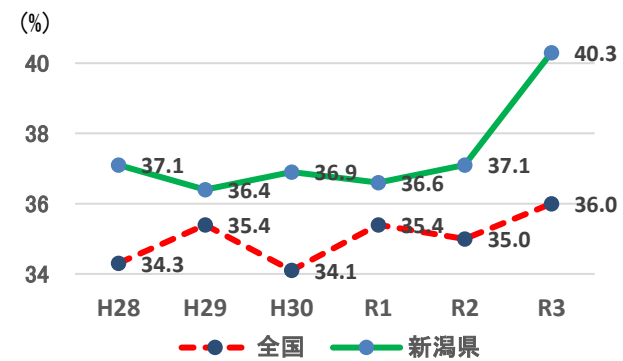
【全部位】



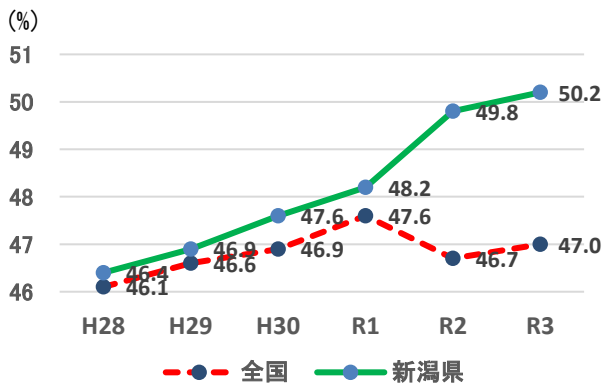
【胃】



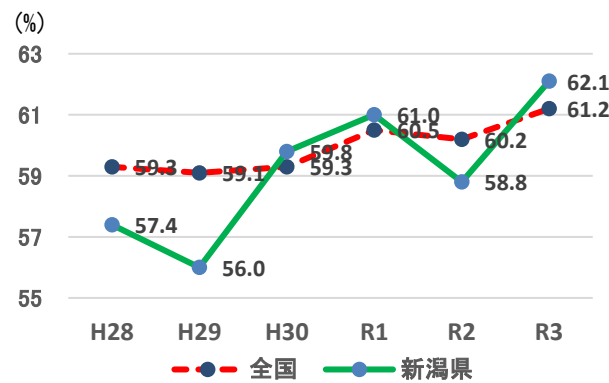
【肺】



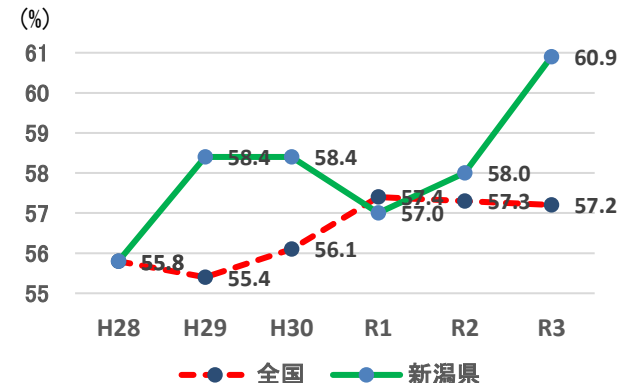
【大腸】



【乳】



【子宮】



※定義：全国がん登録における診断時の進展度のうち、限局に留まっているものの割合(男女計) ※上皮内がんを除く

出典：新潟県のがん登録(平成28～令和3年標準集計)、全国がん登録 罹患数・率(平成28～令和3年報告)

・在宅がん総合診療料の算定件数

・末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数

【指標の状況・評価】

- 中間アウトカム指標である在宅がん総合診療料の算定件数は2,307件（R5）とR4より減少している。また、在宅医療総合診療料の算定に必要となる、緩和ケアの専門性や24時間対応体制の確保など、要件を満たす施設が増えず、施設基準に係る届出施設数は横ばいとなっている。
- 一方で、療養生活を送る場所に対する県民のニーズは多様化しており、それらを踏まえてがんの在宅医療提供体制も整備していく必要がある。
- これまでも、在宅緩和ケア研修を通じて地域の医療従事者の対応力を高め、末期がん患者に対しても在宅医療を提供できる体制の整備を進めてきたところ、引き続き、がん患者とその家族が在宅等での療養場所を選択できる体制の推進を通じて、すべてのがん患者及びその家族の療養生活の質を維持・向上させていく。

	在宅がん医療総合診療料の算定件数		在宅がん医療総合診療料届出施設数	
	R4年	R5年	R4年	R5年
新潟県	3,035	2,307	102	102
全 国	751,634	849,427	13,153	12,977

出典：在宅がん医療総合診療料の算定件数（厚生労働省公表NDBデータ）

在宅がん医療総合診療料届出施設数（診療報酬施設基準・関東信越厚生局公表データ）